

音楽は微力だが無力ではない
私はあなたを忘れない

新実徳英

オーケストラとうたう日本の合唱曲 Vol.2

～音楽復興支援～

2015 **3/26**[木] 17:45 開場 18:45 開演

東京芸術劇場コンサートホール（池袋西口）



2014年3月16日 新宿文化センター

和合亮一作詩・新実徳英作曲

◇『つぶてソング』(全12曲)◇

指揮：新実徳英

合唱：『つぶてソング』会津合唱団、東京オラトリオ研究会
新星合唱団、立川コーラス・アカデミー、樺の会
小平コーラス・アカデミー、瑞穂町つぶて合唱団

きむらゆういち作詩・上田真樹作曲

◇『あらしのよるに』◇

指揮：郡司博

児童合唱：会津若松市立松長小学校合唱団

『あらしのよるに』会津こども合唱団、東久留米児童合唱団そよかぜ
すみれ会こども合唱団、オーケストラとうたう杜の歌・子ども合唱団
三鷹中央学園三鷹市立第三小学校、関北みどりの風合唱団

◇文京学院大学女子中学校合唱部◇

指揮：稲垣絢子

小倉朗作曲「東北地方のわらべうたによる
九つの無伴奏女声合唱曲」より「郵便配達」「子守唄」
作詞：やなせたかし/作曲：木下牧子「さびしいカシの木」
作詞：高野辰之/作曲：岡野貞一/編曲：源田俊一郎：「故郷」

鶴崎庚一作・編曲 女声合唱のためのメドレー

◇『日本の風景』◇

指揮：渡部智也

合唱：樺の会、東京ライエンコーア

◇ソプラノ独唱 小田切一恵◇

ピアノ：小林牧子

中田喜直作曲「さくら横町」

小林秀雄作曲「すてきな春に」「落葉松」

管弦楽：オラトリオ・シンフォニカ JAPAN

上記は演奏順ではありません

全席指定 S4000円 A3000円 ※入場料金のうち1000円を音楽復興支援基金といたします

■主催：認定NPO法人おんがくの共同作業場 ■後援：会津若松市、会津若松市教育委員会

■協力：文京学院大学女子中学校、新星合唱団、東京オラトリオ研究会、樺の会

■チケットお取扱い：カンマーザール TEL 042-522-3931 / 東京芸術劇場ボックスオフィス TEL 0570-010-296

◇ホームページからのお申し込みはこちら <http://kammer.ne.jp/>

※未就学児のご入場はご遠慮ください ※遅れてご来場になると、ご入場をお待ちいただくことがあります

3.26 演奏会に向けて寄せられたメッセージ

◆文京学院大学女子中学校 代表 南部和彦

昨年に引き続き、素晴らしい発表の機会を与えて頂き感謝しております。音楽による復興支援は本校の理念や校訓を生徒自らが実践する場と位置づけています。

昨年、合唱部の生徒達は原発で学校に戻れない子供たちのために、熊野町小学校、大野小学校、そして大熊中学校の校歌を唱わせて頂きました。思いを込めて唱うことの難しさを学んだ貴重な機会でした。

お陰様でこの発表を境に生徒達も大きく成長しました。今回は昨年とは異なる編成にて唱わせて頂きます。成長した合唱部の歌声を聞いて頂ければ幸いです。

復興への道のりは長く、支援活動はこれからも続きます。音楽による復興支援は一人ひとりの心に大きな感動を残します。歌声を通して文京からの力強いエールを被災地の皆様に届けたいと思います。

◆三鷹中央学園三鷹市立第三小学校合唱団 教諭 小林莊子

東京の子どもたちは震災が与える影響が本当のところはわからないと思います。しかし、福島の子供たちと一緒に歌うことで何かを感じ考えたりするでしょう。“この震災を忘れない”私たちにできることは何かを考えるきっかけになればと思います。

＜こどもたちからのメッセージ＞

- ・このコンサートで少しでも元気づけられてるように歌いたいです。
- ・福島と東京は少し遠いけれど、交流できてとても楽しみです。
- ・3月11日の地震では、たくさんの人が心も傷ついてしまったと思います。歌で、その人たちに元気になってほしいです。
- ・復興、復興と言っていますが、まだ仮設住宅に住んでいる人は大勢います。私たち子どもは大人の人よりもできることが少ないですが、この機会に、一緒に歌う子供たち、それを聴きに来る人に少しでも元気になってほしいです。

◆会津事務局 代表 根本由貴江

今年3月16日に引き続き、来年3月26日にも音楽による復興支援の演奏に参加できることになり本当に嬉しい限りです。

冬の風物「干し柿」をほおばりながら、震災前と震災後は味が違うと言う一何がどう変わったのか？今までこんなもんだ！と何気に食していたものに対して、今は心から味わうようになったからだと言う一今も仮設住宅では、日常のほんの些細なことにも「想い」を馳せる日々がずっと続いている一そして「正月はいいもんだ」を歌いながら自らを鼓舞する人々…唱和している人々の表情はしだいに明るくなっていく…

きっと、「生きる」とはこういう一生懸命さなのだろうと思います。「生きる」意義を深く捉える機会を与えられたことに感謝し、多くの皆さまのお気持ちに届きますように…と心を込めて歌わせていただきます。

◆文京学院大学女子中学校合唱部 担当教諭 三戸佳澄

昨年に続いて2度目の参加です。昨年は福島県大熊町立大熊小学校と大野小学校の校歌を歌わせていただきました。今年は、「東北地方のわらべうたによる九つの無伴奏合唱曲」の中から2曲をご披露いたします。私たちは、福島第一原発のニュースで大熊町が話題になると、以前にもまして事故の問題を身近に感じられるようになりました。この2曲で東北地方を身近に感じていただけたら嬉しいです。

◆会津ピアニスト 小林広美

前回、つづて合唱団の一員としてコンサートに出演させて頂いた事は、私の一生の宝物になりました。今回も、練習ピアニストとして勉強させて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。また皆様とご一緒に本番のステージに立てる事を楽しみにしています。

◆音楽復興支援プロジェクト 代表

声楽家 合唱指揮者 渡部智也

「歌う」こと自体ができることは何もないかもしれませんが。しかし「歌い続けて」いくことは、薄らいでいく記憶を呼び起こし、傷ついた私たちにとって本当に大切なものは何かを考える、大きな力になるのではないのでしょうか。「つづてソング」「あらしの夜に」「日本の歌」に込められた『ふるさとへの想い』や『愛情』を、今年もご参加くださった多くの演奏者と、会場に足をお運びくださる皆様と共に「歌い続けて」いきたいと思ひます。

◆東久留米児童合唱団そよかせ

私達の歌で復興の役に立つことが出来ると嬉しいし、私達も楽しめるので、とても楽しみです。(たまり)

「あらしの夜に」は長くて、覚えるのが大変でしたが、毎日家でも練習して覚ええました。今度もほかの合唱団の人と友達になれるかな？(こころ)

「あらしの夜に」のオケ合わせの時、オーケストラを近くで見れたのは初めてで、吹奏楽でやっているトランペットも近くで見れて嬉しかったです。トランペットがかっこよかったです!!(みお)

前回、一緒に歌った人と練習している内に友達になりました。また一緒に歌えるかな？

被災した町が一日でも早く復興するよう願っています。また花が咲きますように。(こはる)

◆東京オラトリオ研究会 古山静江(大熊町出身)

田舎の家族は、震災の次の日に家を出たまま、いわき市と郡山市に離れて暮らしています。果樹園を経営していましたが、あれから4年、何もできず放ったままです。戻れる日は来るのでしょうか。梨を育てることも、それを食べることもできません。悲しすぎて、悔しすぎてどうしようもありません。しかし、立ち止まっているわけにはいきません。このコンサートのように、忘れないでいてくださる皆さんの思いを励みに、前に向かって生きていきます。

◆会津事務局 小澤久美子

松長小学校合唱団は昨年3月の演奏会に参加して、全員初めてのホームステイを経験しました。ドキドキしながらも楽しい時間を過ごしたのでしょうか、その中には今でもステイ先と交流を続けている生徒がいます。来年もあります、と声をかけたところ、生徒達はいちにもなく大賛成でした。今年3月8日には恒例の「ベストスマイルコンサート」を合唱団員全員で企画、保護者の皆さんはじめ近くの仮設住宅にお住まいの方々を招待して、「あらしのよるに」を演奏します。子供たちの未来へのメッセージが沢山の人々に届きますように！

◆会津若松 田崎朝美

楽譜を通して音楽を紡ぎ出し、同じ気持ちで表現し持ち寄る。そして素晴らしいタクトに導かれてオーケストラと競演。昨年3月新宿でのあの感動は、忘れることが出来ません。それが再びこんなに早く味わえるなんて。

この歌は福島のためにも、平和を願うすべての人々のためにも歌い継がれて欲しいものです。

詩、物語の素晴らしさ、曲の美しさを心を込めて表現し、さらに感動の輪を広げていけるよう、お手伝いしたいと思います。